

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)柏市沼南地区物流計画**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE 柏2016(v.2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.30</b>			<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>						<b>2.7</b>	0.15			<b>2.7</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40			
1.2 遮音						<b>1.8</b>	0.40			
1 開口部遮音性能						1.0	0.60			
2 界壁遮音性能						3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音		天井・床の二面に吸音材を使用。				<b>4.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.0</b>	0.35			<b>2.0</b>
2.1 室温制御						<b>3.0</b>	0.50			
1 室温						3.0	0.38			
2 外皮性能						3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38			
2.2 湿度制御						<b>1.0</b>	0.20			
2.3 空調方式						<b>1.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.5</b>	0.25			<b>3.5</b>
3.1 昼光利用						<b>4.2</b>	0.30			
1 昼光率		昼光率: 3.968%。				5.0	0.60			
2 方位別開口										
3 昼光利用設備						3.0	0.40			
3.2 グレア対策						<b>3.0</b>	0.30			
1 昼光制御						3.0	1.00			
3.3 照度		照度500lx以上。				<b>4.0</b>	0.15			
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.9</b>	0.25			<b>3.9</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.50			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建築材料の使用。				4.0	1.00			
4.2 換気						<b>4.3</b>	0.30			
1 換気量		換気量: 30CMH/人。				5.0	0.33			
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積: 1/30以上。				5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33			
4.3 運用管理						<b>3.0</b>	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視						-	-			
2 喫煙の制御						3.0	1.00			
<b>Q2 サービス性能</b>							<b>0.30</b>			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>						<b>2.8</b>	0.40			<b>2.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>1.6</b>	0.40			
1 広さ・収納性						3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応						1.0	0.33			
3 バリアフリー計画						1.0	0.33			
1.2 心理性・快適性						<b>3.6</b>	0.30			
1 広さ感・景観		事務室部分の天井高は3.0mである。				5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースの設置、自販機の設置計画。				5.0	0.33			
3 内装計画						1.0	0.33			
1.3 維持管理						<b>3.5</b>	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		清掃性及び防錆対策などの配慮。				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.2</b>	0.30			<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>4.0</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		耐用年数の長い外装仕上げ材を使用している。				5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長い内装仕上げ材を使用している。				5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		耐用年数の長い配管材を使用している。				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						<b>2.8</b>	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			
<b>3 対応性・更新性</b>						<b>4.0</b>	0.30			<b>4.0</b>
3.1 空間のゆとり						<b>5.0</b>	0.30			
1 階高のゆとり		階高は6.7mである。				5.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率: 0.0695。				5.0	0.40			

3.2	荷重のゆとり	倉庫部分の設計床荷重は14,000N/m <sup>2</sup> である。	5.0	0.30	-	-	-
3.3	設備の更新性		2.6	0.40	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性		1.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.40	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.9
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	断熱性能の高い建築外皮材料(断熱材・窓材等)を使用している。	5.0	0.00	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.12	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.48	5.0	0.62	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.25	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
	集合住宅の評価		-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.9
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	給水器具の過半に節水機能のあるものを採用している。	4.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-
2	非再生性資源の使用量削減		4.2	0.60	-	-	4.2
2.1	材料使用量の削減	BCP材、高強度鉄骨材の使用等。	4.0	0.11	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	基礎等:高炉セメントB種	5.0	0.22	-	-	-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:ビニルシート、天井:岩綿吸音板	4.0	0.22	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材の分離が容易である。	5.0	0.22	-	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=1の断熱材を使用している。	5.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1	地球温暖化への配慮	CO2排出率:75%	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮		3.6	0.33	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止	オール電化としている。	5.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	十分な駐輪駐車スペース、荷捌きスペースを確保している。	5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	-
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの一部を満足している。	4.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-